

問1 私たちの経済生活において、貨幣は物々交換の不便さを解消し、スムーズな取引を支える重要な役割を担っています。リンゴやペンといった商品を購入する際に、貨幣がその代金として支払われることで、財（モノ）やサービスと引き換えられる働きを何と呼びますか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

1. 価値の尺度 2. 交換手段 3. 価値の保存 4. 支払手段

問2 景気が過熱し、インフレーションの恐れがある場合に政府が行う財政政策として、経済を安定させるための適切な組み合わせはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する 2. 公共事業を増やしたり、減税を行ったりして、社会全体の需要を刺激する 3. 公共事業を増やし、同時に増税を行うことで、財政赤字の解消を優先する 4. 公共事業を減らし、同時に減税を行うことで、企業の投資意欲を高める

問3 外国為替相場において、1ドル=138円から1ドル=148円へと円の他国通貨に対する価値が変動した際、日本の経済に与える影響として最も適切な説明を選択してください。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 海外から輸入される原材料や製品の円建て価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる。 2. 日本から海外へ輸出する製品の現地での価格が上昇するため、輸出産業にとって不利に働く。 3. 日本国内の消費者が海外旅行に行く際の航空券代や滞在費が安くなり、海外旅行が容易になる。 4. 一ドルを交換するために必要な円が少なくて済むようになるため、輸入企業の支払負担が軽減される

問4 日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれている理由を、その仕組みから説明したものと正しいものはどれですか。（2020年 山形公立入試 類似）

1. 民間の金融機関のみを取引相手として、資金の預かりや貸し出しを行うため。 2. 全国の銀行の経営方針を決定し、銀行員の人事権を掌握しているため。 3. 政府の指示に基づいて、すべての銀行の支店設置場所を決定するため。 4. 世界中の主要な銀行に資金を提供し、国際的な通貨価値を統一するため。

問5 景気が過熱して物価が急激に上昇するのを抑えるため、日本銀行は市場の通貨量を調整する「公開市場操作」を行います。この際、日本銀行が民間銀行に対して国債を売り、世の中に出回る通貨の量を減らす操作を何といいますか。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 売りオペレーション 2. 買いオペレーション 3. 支払準備率操作 4. 政策金利の引き下げ

問6 日本銀行、一般の金融機関、企業、公開市場という4つの主体の関係において、日本銀行が国債を買い入れる「買いオペレーション」が実施された場合、その後の資金の流れとして最も適切なものはどれですか。（2024年 京都公立入試 類似）

1. 日本銀行から一般の金融機関へ代金が支払われ、金融機関から企業への貸し出しが増える。 2. 企業から一般の金融機関へ国債が売却され、金融機関から日本銀行へ代金が支払われる。 3. 一般の金融機関から日本銀行へ国債が売却され、日本銀行が企業から直接資金を回収する。 4. 政府から日本銀行へ国債が発行され、日本銀行が企業へ直接公共事業の代金を支払う。

問7 銀行などの金融機関が、家計などから預かったお金の対価として預金者に支払うもの、あるいは企業などに資金を貸し出した際の手数料として受け取るものの名称として、最も適切なものはどれですか。（2024年 静岡公立入試 類似）

1. 利子 2. 配当金 3. 元金 4. 売上金

問8 日本の中央銀行である日本銀行は、民間の金融機関には認められていない特別な役割を3つ持っています。そのうち、日本の紙幣である日本銀行券を独占的に発行できる唯一の銀行としての役割を何といいますか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 発券銀行 2. 銀行の銀行 3. 政府の銀行 4. 市中銀行

問9 日本における唯一の中央銀行である日本銀行が担う、3つの大きな役割の名称として適切な組み合わせはどれですか。日本銀行は紙幣を発行し、国の資金を管理するとともに、一般の銀行に対して貸し付けや預金の受け入れを行っています。（2020年 山形公立入試 類似）

1. 発券銀行・政府の銀行・銀行の銀行 2. 発券銀行・市中銀行・政府の銀行 3. 政府の銀行・普通銀行・銀行の銀行 4. 発行銀行・市場の銀行・銀行の銀行

答え合わせ・解説

問1	答え 2 交換手段	貨幣には主に3つの機能がありますが、その中でも最も基本的なものが、モノやサービスと直接やり取りされる「交換手段」としての機能です。物々交換では「自分の欲しいものを持つ相手」かつ「相手が自分の持っているものを欲しがっている」という一致が必要ですが、貨幣が仲立ち（媒介）となることで、誰とでも自由に、効率よく取引を行うことが可能になります。
問2	答え 1 公共事業を減らしたり、増税を行ったりして、社会全体の需要を抑制する	政府は景気を調整するために、支出（公共事業）と収入（税金）を操作します。景気が良すぎる（過熱している）ときは、道路建設などの公共事業を削減して政府支出を抑えるとともに、増税によって国民や企業が自由に使えるお金を減らします。これらの措置によって、社会全体の買い物の勢い（総需要）を抑え、物価の安定を図ります。
問3	答え 1 海外から輸入される原材料や製品の円建て価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる。	外国為替相場において1ドルあたりの円の数値が大きくなることは、円の価値が下がる「円安」を意味します。円安になると、海外の製品を輸入する際により多くの円を支払わなければならなくなるため、輸入価格が上昇します。日本はエネルギー資源や食料品の多くを輸入に頼っているため、円安は国内の物価上昇（コストプッシュ・インフレ）を招く直接的な原因となります。
問4	答え 1 民間の金融機関のみを取引相手として、資金の預かりや貸し出しを行うため。	日本銀行は、私たち一般の個人や民間企業との取引は行いません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「民間の金融機関」を相手に、資金の貸し出しや預金の受け入れを行います。このように、銀行にとっての「銀行」のような役割を果たしていることから、この名称で呼ばれます。これにより、金融市場全体の資金供給量をコントロールしています。
問5	答え 1 売りオペレーション	景気が過熱しているとき、日本銀行は世の中のお金の量を減らすことで経済を落ち着かせようとしています。日本銀行が持つ国債を民間銀行に売ると、その代金として民間銀行の資金が日本銀行に吸収されます。これにより、民間銀行が企業や個人に貸し出せるお金が減り、経済活動が抑制される仕組みです。
問6	答え 1 日本銀行から一般の金融機関へ代金が支払われ、金融機関から企業への貸し出しが増える。	買いオペレーションが実施されると、まず日本銀行と一般の金融機関の間で国債と代金の交換が行われます。日本銀行が代金を支払うことで、民間の銀行の手元に資金（通貨）が供給されます。その結果、銀行から企業への貸し出しという新たな資金の流れが生まれ、市場全体の通貨量が増加し、景気の回復が図られます。
問7	答え 1 利子	銀行は家計から預金という形でお金を集め、それを企業や個人に融資（貸し出し）することで社会の経済活動を支えています。この資金の貸し借りに際して発生する対価を利子（または利息）と呼びます。配当金は株式を保有している企業から利益の分配として受け取るものであり、元金は貸し借りしたお金そのものの額を指します。
問8	答え 1 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券（紙幣）」を発行できる権利を持つため「発券銀行」と呼ばれます。これにより、世の中に出回る通貨の量を調整し、物価や経済の安定を図る役割を担っています。他の選択肢である「銀行の銀行」は民間銀行と取引を行う役割、「政府の銀行」は国庫金の管理などを行う役割を指します。
問9	答え 1 発券銀行・政府の銀行・銀行の銀行	日本銀行は、日本銀行券（紙幣）を独占的に発行する「発券銀行」、税金の受け入れや国債の発行など国の資金を管理する「政府の銀行」、そして一般の銀行（市中銀行）から預金を受け入れたり資金を貸し出したりする「銀行の銀行」という3つの役割を担っています。これに対し、私たちが普段利用している銀行は「普通銀行」や「市中銀行」と呼ばれ、日本銀行とは役割が明確に区別されています。

問1 現代の金融生活において重要とされる、クレジットカードの「計画的な支出管理」について説明したものととして、正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 将来の支払いに困ることがないよう、自身の収入や他の支出予定を照らし合わせて、無理のない範囲で利用すること | 2. カード会社が代金を立て替えてくれる利便性を最大限に活用し、収入の多寡にかかわらず欲しいものをすべて購入すること | 3. 支払いを後回しにできる利点を生かして、具体的な返済計画を立てることなく、常に利用限度額いっぱいまで利用すること | 4. 決済の仕組み上、商品を受け取った瞬間に現金で支払うのと同じ状態になるため、将来の収入予定を考慮する必要はない |
|---|--|--|---|

問2 日本銀行が、景気や物価の安定を図るために金融機関を相手に国債などを売買し、世の中の通貨量を調節する仕組みを何といいますか。（2016年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|----------|
| 1. 公開市場操作 | 2. 支払準備率操作 | 3. 預金保険制度 | 4. 財政投融资 |
|-----------|------------|-----------|----------|

問3 日本の中央銀行である日本銀行が果たす役割について、その業務内容を正しく説明しているものを選んでください。（2023年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|------------------------------------|
| 1. 日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる「発券銀行」としての役割 | 2. 家計の預金を預かったり、一般企業に対して事業資金の貸し出しを行ったりする役割 | 3. 政府の指示に基づいて、毎年の国の予算案を作成し、税金の徴収を直接行う役割 | 4. 輸出入の制限や関税の決定を行い、海外との貿易を直接管理する役割 |
|---|---|---|------------------------------------|

問4 日本銀行が一般の銀行に対して国債を売却し、市場の資金を引き上げる政策を実施する「背景」と「目的」について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 景気が過熱している際、通貨量を減らすことで物価の上昇を抑え、景気を安定させるため | 2. 景気が後退している際、通貨量を増やすことで企業の投資を促し、景気を刺激するため | 3. 円高を是正するために、外国為替市場において大量の日本円を供給し、通貨価値を下げるため | 4. 政府の財源が不足している際、市場から一時的に資金を借り入れることで予算を確保するため |
|---|--|---|---|

問5 好景気（好況）の際には、消費者の購買意欲が高まって商品の売れ行きが良くなり、企業の生産活動がより活発になります。このような経済状況において、物価が継続的に上昇し続ける現象を何といいますか。（2026年 福岡公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|-------|
| 1. インフレーション | 2. デフレーション | 3. スタグフレーション | 4. 円高 |
|-------------|------------|--------------|-------|

問6 日本において「中央銀行」としての役割を担っているのは日本銀行です。日本銀行は、日本の紙幣（日本銀行券）を発行することができる唯一の機関ですが、この役割を何と呼びますか。（2017年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 発券銀行 | 2. 銀行の銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 市中銀行 |
|---------|----------|----------|---------|

問7 不景気の際に、日本銀行が景気を刺激して回復を図るために行う「公開市場操作」について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせを選びなさい。「日本銀行が民間の銀行から国債を（ ① ）ことで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げた企業が資金を借りやすくする。この操作を（ ② ）という。」（2019年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 1. ①：買い入れ ②：買いオペレーション | 2. ①：売却 ②：売りオペレーション | 3. ①：買い入れ ②：預金準備率操作 | 4. ①：売却 ②：公定歩合操作 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|------------------|

問8 景気が過熱し、物価が上がり続けるインフレーションの懸念があるとき、日本銀行は景気を落ち着かせるための金融政策を行います。この際、日本銀行が実施する「売りオペレーション」の内容と、それによって期待される市場の変化として正しいものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。 | 2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を増やすことで、景気を刺激する。 | 3. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を増やすことで、消費を活性化させる。 | 4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を減らすことで、物価の下落を防ぐ。 |
|--|---|--|--|

問9 景気が過熱し、物価が上がりすぎるおそれがある好況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調節するために行う操作とその仕組みについて、正しい説明はどれか。（2023年 長崎公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることによって、通貨量を減少させる。 | 2. 一般の銀行から国債を買い取り、市場に資金を供給することで、通貨量を増加させる。 | 3. 政府が公共事業の支出を増やすことで、社会全体の需要を刺激し、景気をさらに活性化させる。 | 4. 所得税の税率を引き下げることによって、個人の消費支出を増やし、企業の生産活動を促進する。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 将来の支払いに困ることがないように、自身の収入や他の支出予定を照らし合わせて、無理のない範囲で利用すること	クレジットカードの利用は、実質的にはカード会社からの「借金」と同じ状態です。計画的な支出管理とは、単にカードを使うのではなく、将来訪れる支払い（引き落とし）のタイミングで、自分の収入から無理なくその代金を捻出できるかどうかを事前に計算し、管理することを指します。これは、健全な消費生活を維持するための基本的なスキルです。
問2	答え 1 公開市場操作	日本銀行が市場を通じて国債などを売買し、通貨量をコントロールする政策を公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）と呼びます。これは現在の日本における金融政策の中心的な手段です。景気が過熱しているときは国債を売って通貨を回収し（売りオペレーション）、不況のときは国債を買って通貨を供給する（買いオペレーション）ことで、物価と景気の安定を目指します。
問3	答え 1 日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる「発券銀行」としての役割	日本銀行は、日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券（紙幣）の発行・管理を行っています。これに加え、民間の金融機関から預金を受け入れたり貸し出しを行ったりする「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の出し入れや公債の発行など、国の資金を管理する「政府の銀行」としての役割を担っています。一般の個人や企業が日本銀行に口座を作り、預金することはできません。
問4	答え 1 景気が過熱している際、通貨量を減らすことで物価の上昇を抑え、景気を安定させるため	好況時には、人々の買い物が盛んになり、通貨が市場に溢れて物価が急騰するリスクがあります。日本銀行は国債の売却を通じて、銀行が企業や個人に貸し出せる資金を減らし、経済活動を適度に落ち着かせることで、国民生活に悪影響を及ぼす過度な物価高騰を防ぐ役割を担っています。
問5	答え 1 インフレーション	好景気のときには、モノやサービスに対する需要が供給を上回りやすくなるため、物価が上がり続けます。この現象をインフレーションと呼びます。これとは逆に、不景気で物価が下がり続ける状態はデフレーションと呼ばれます。
問6	答え 1 発券銀行	日本銀行は、一国の金融システムの中心となる中央銀行です。日本銀行券を独占的に発行する「発券銀行」としての役割のほか、一般の銀行に対して資金の貸付や預金の受け入れを行う「銀行の銀行」、政府の資金を管理する「政府の銀行」という3つの大きな役割を果たしています。
問7	答え 1 ①：買い入れ ②：買いオペレーション	日本銀行が市場の通貨量を調節する政策を公開市場操作といいます。景気が悪いときには、日本銀行が銀行の持つ国債を買い取ることで、その代金が民間銀行へと渡り、世の中に出回る通貨（マネーストック）が増加します。これにより、資金の供給が需要を上回って金利が低下し、企業が設備投資などのための資金を借りやすくなることで景気を刺激します。
問8	答え 1 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。	好景気でインフレーションが懸念される場合、日本銀行は保有する国債を民間銀行に売却します。これを売りオペレーションと呼びます。民間銀行が国債を購入する代金として日本銀行にお金を支払うため、市場に出回る通貨量が減少し、結果として企業の投資や個人の消費が抑えられ、物価の上昇が抑制されます。
問9	答え 1 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。	景気が過熱している時期には、日本銀行は保有する国債を一般の銀行に売却します。これにより、民間銀行が支払いに充てた資金が日本銀行へ回収されるため、世の中に出回る通貨量が減少し、過度なインフレや景気の過熱を抑える働きが生じます。対照的に、国債を買い取る操作は不況期に行われるものです。また、公共事業の増減や減税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。

問1 物価が継続的に下落するデフレーションが発生し、景気が後退している状況において、日本銀行が行う「公開市場操作（買いオペレーション）」の仕組みと目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行から有価証券を買い入れ、市場の通貨量を増やすことで、経済活動の活性化を図る。 | 2. 日本銀行が市中銀行へ有価証券を売却し、市場の通貨量を減らすことで、物価の過度な上昇を抑える。 | 3. 日本銀行が市中銀行から有価証券を買い入れ、市場の通貨量を減らすことで、企業の過剰な設備投資を抑制する。 | 4. 日本銀行が市中銀行へ有価証券を売却し、市場の通貨量を増やすことで、消費者の購買意欲を高め物価を安定させる。 |
|--|---|--|--|

問2 日本銀行は、私たちの生活に関わる一般の銀行とは異なる特別な役割を担っています。日本銀行が、一般の銀行に対して資金の貸し出しや預金の受け入れを行う役割を何と呼びますか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 発券銀行 | 2. 政府の銀行 | 3. 銀行の銀行 | 4. 市中銀行 |
|---------|----------|----------|---------|

問3 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす際、景気を調整するために行う操作（金融政策）についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 景気が悪いときには、民間の銀行への貸し出し利率を下げることで、世の中に出回るお金の量を増やす。 | 2. 景気が悪いときには、政府から集めた税金を公共事業に使い、国民の所得を直接増やす。 | 3. 景気が良すぎるときには、紙幣の発行を完全に停止することで、物価の上昇を抑える。 | 4. 景気が良すぎるときには、民間の銀行に預けられている個人の貯金を強制的に国債へ振り替える。 |
|--|---|--|---|

問4 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気回復を図るために行う金融政策として、日本銀行が一般の銀行に対してとる行動と、それによって生じる市場の変化の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い上げ、市場に流通する資金量を増やす。 | 2. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に流通する資金量を増やす。 | 3. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い上げ、市場に流通する資金量を減らす。 | 4. 日本銀行が一般の銀行に国債を売り、市場に流通する資金量を減らす。 |
|--|-------------------------------------|--|-------------------------------------|

問5 2024年度から導入された新一万円札の肖像には、かつて「日本資本主義の父」と呼ばれ、日本最初の国立銀行を設立した人物が採用されました。この人物は誰ですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 福沢諭吉 | 2. 渋沢栄一 | 3. 岩崎弥太郎 | 4. 津田梅子 |
|---------|---------|----------|---------|

問6 家計、金融機関、企業の三者間における資金の流れを説明した以下の文のうち、間接金融の仕組みを正しく述べているものはどれですか。（2026年 富山公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 家計が企業の株式や社債を直接購入し、企業がその資金を事業に活用する仕組み。 | 2. 政府が家計から税金を徴収し、公共事業などを通じて企業に資金を供給する仕組み。 | 3. 家計が金融機関に預けた資金を、金融機関が仲介役となって企業へ貸し出す仕組み。 | 4. 日本銀行が市中銀行との間で国債を売買し、世の中に出回る通貨の量を調整する仕組み。 |
|--|---|---|---|

問7 資金の借り手である企業が、貸し手である家計や他の企業から資金を得る「直接金融」の仕組みについて、その具体的な説明として正しいものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 企業が株式や債券を発行し、それを家計などが購入することで、間に金融機関を挟まずに資金が流れる仕組み。 | 2. 銀行が家計から預金として集めた資金を、銀行の判断と責任によって企業に貸し出す仕組み。 | 3. 中央銀行が民間銀行の保有する有価証券を売買することで、世の中に出回る通貨の量を調整する仕組み。 | 4. 政府が発行する公債を日本銀行が直接引き受けることで、国の財政資金をまかなう仕組み。 |
|---|---|--|--|

問8 日本銀行が「政府の銀行」として活動する一番の理由はどれですか。（2018年 兵庫公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 国のお金を安全に管理し、支払いをスムーズにおこなうため | 2. 日本銀行が利益をたくさん増やして、国をゆたかにするため | 3. 一般の銀行よりも、もっと高い利率でお金を貸すため | 4. 全国の人たちから直接税金を集めて、集計するため |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------------|

問9 外国為替市場において、1ドル=100円だった為替レートが1ドル=140円になるような、他国の通貨に対して日本円の価値が相対的に下がる現象を何と呼びますか。また、その際、海外から輸入される牛肉などの輸入価格はどう変化しますか。正しい組み合わせを選びなさい。（2026年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 円安となり、輸入価格が上昇する | 2. 円安となり、輸入価格が下落する | 3. 円高となり、輸入価格が上昇する | 4. 円高となり、輸入価格が下落する |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本銀行が市中銀行から有価証券を買い入れ、市場の通貨量を増やすことで、経済活動の活性化を図る。	デフレーション（デフレ）は、物価が下落し続けることで企業の利益が減り、不況を招く現象です。この際、日本銀行は景気を刺激するために、市中銀行から国債などの有価証券を買い入れる「買いオペレーション」を行います。日銀が代金を支払うことで世の中に出回る通貨量が増え、金利が低下します。これにより、企業や個人がお金を借りやすくなり、投資や消費が促進されて景気回復へとつながることが期待されます。
問2	答え 3 銀行の銀行	日本銀行は一般の企業や個人とは直接取引を行わず、銀行などの金融機関を相手に資金を融通します。この役割を「銀行の銀行」と呼び、金融システムの安定を維持しています。一方、紙幣を発行する役割は「発券銀行」、国庫金の管理などを行う役割は「政府の銀行」と呼ばれます。
問3	答え 1 景気が悪いときには、民間の銀行への貸し出し利率を下げること、世の中に出回るお金の量を増やす。	「銀行の銀行」としての役割は、景気のコントロールにも活用されます。不況の際には、日本銀行が民間の銀行へ貸し出す際の条件を緩和したり、利率を下げたりすることで、民間の銀行が企業や個人へお金を貸し出しやすくし、経済活動を活発にしようとしています。これを金融緩和といえます。
問4	答え 1 日本銀行が一般の銀行から国債を買い上げ、市場に流通する資金量を増やす。	不況のときには、世の中に出回るお金の量を増やして経済を活性化させる必要があります。日本銀行が一般の銀行が持っている国債を買い上げることで、その代金が銀行に支払われ、結果として市場に流通する資金量が増加します。これにより、企業や個人が銀行からお金を借りやすくなり、景気を向上させる効果が期待されます。これを買いオペレーションと呼びます。
問5	答え 2 渋沢栄一	渋沢栄一は明治時代に第一国立銀行（現在の銀行の先駆け）を設立したほか、500以上の企業の創立に関わり、日本の近代経済の基礎を築きました。経済活動だけでなく、社会福祉事業にも深く関わった功績から、新紙幣の肖像として選ばれました。なお、当時の「国立銀行」は、現在の「日本銀行（中央銀行）」とは異なり、民間資本による銀行でした。
問6	答え 3 家計が金融機関に預けた資金を、金融機関が仲介役となって企業へ貸し出す仕組み。	間接金融では、家計から預金として集められた資金が、金融機関というフィルターを通して企業へと流れます。これに対し、家計が直接株式などを買う仕組みは直接金融と呼ばれます。金融機関が間に入ることで、個々の家計は直接的な投資リスクを避けることができます。
問7	答え 1 企業が株式や債券を発行し、それを家計などが購入することで、間に金融機関を挟まずに資金が流れる仕組み。	直接金融は、企業が発行する株式や債券（社債）を投資家が直接買い取ることで成立します。銀行を仲介役とする間接金融とは異なり、投資家が企業に対して直接リスクを負うこととなります。この仕組みにより、企業は長期的な資金を安定して確保することが可能になります。
問8	答え 1 国のお金を安全に管理し、支払いをスムーズにおこなうため	国が使う膨大なお金を個人の銀行で管理するのは大変でリスクもあります。日本銀行が政府の資金を管理することで、公共事業などの支払いを正確かつ確実におこない、国全体の経済活動が滞りなく進むように支えています。
問9	答え 1 円安となり、輸入価格が上昇する	1ドルを交換するために必要な日本円が100円から140円に増えることは、ドルに対して円の価値が下がったことを意味するため「円安」と呼びます。この状況では、海外から1ドルの商品を買い付ける際により多くの円を支払わなければならないため、輸入価格は上昇し、家計や企業のコスト負担が増加する要因となります。

問1 景気が後退している不況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調整するために行う「買いオペレーション（公開市場操作）」の説明として、最も適切なものはどれですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 日本銀行が金融機関の保有する国債などを買い取り、世の中の通貨量を増やすこと | 2. 日本銀行が金融機関に国債などを売り、世の中の通貨量を減らすこと | 3. 日本銀行が直接企業に資金を貸し出し、新しい設備投資を強制すること | 4. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、公共事業の予算を増やすこと |
|--|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|

問2 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たす際、一般の銀行（民間金融機関）との間で行われる具体的な業務の説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 民間金融機関が保有する資金が不足した際などに、その機関に対して資金の貸し出しを行う。 | 2. 民間金融機関に代わって、所得税などの税金の収納や、年金の支払いといった国の事務を行う。 | 3. 民間金融機関からの依頼を受けて、新しい一万円札や五千円札などの日本銀行券を発行する。 | 4. 民間金融機関が倒産しないよう、一般の個人や企業に対して日本銀行が直接融資を行う。 |
|---|--|---|---|

問3 日本銀行の組織や業務内容を整理した資料において、日本銀行が担う「発券銀行」「銀行の銀行」に並ぶ第3の役割について、その具体的な業務内容の説明としてふさわしいものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|-----------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 所得税などの国庫金を取り扱い、国債の発行や管理など国の資金を管理する。 | 2. 一般の銀行に対して資金を貸し出し、銀行間の決済を円滑にする。 | 3. 日本銀行券を発行し、世の中に流通する通貨の量を調節する景気対策を行う。 | 4. 一般市民や民間企業からの預金を受け入れ、住宅ローンなどの融資を行う。 |
|--|-----------------------------------|--|---------------------------------------|

問4 現代の経済において、銀行などの金融機関に預けられている「預金」が、紙幣や硬貨といった現金とともに「通貨」として扱われる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. キャッシュレス決済や口座振替などを通じ、現物を使わずに代金の支払いに利用できるため | 2. 国債や地方債と同様に、政府が発行して市場の通貨量を直接的に調整する役割を担っているため | 3. 日本銀行のみが発行を許されており、その価値が金（ゴールド）の保有量と常に連動しているため | 4. 株式と同様に、企業に資金を提供することで利益の配当を得るための投資手段として特化しているため |
|--|--|---|---|

問5 ある商店において、10kgの米に3,000円、バナナ1本に30円という値札が付けられている状況を想定します。このように、貨幣（お金）を用いて、性質の異なる様々な財やサービスの価値を「円」という共通の単位で数値化し、それらの価値を容易に比較できるようにする貨幣の働きを何といいますか。（2021年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 価値の尺度 | 2. 支払手段 | 3. 蓄蔵手段 | 4. 交換手段 |
|----------|---------|---------|---------|

問6 あるパン屋において、これまで1,000円で8個買うことができたパンが、社会全体の物価上昇の影響を受けて1個あたりの価格が2倍になったとします。このとき、同じ1,000円で買うことができるパンの個数と、お金の価値の変化について正しく説明しているものはどれですか。（2024年 宮崎公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。 | 2. パンの個数は4個に減少し、お金の価値は上昇した。 | 3. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は下落した。 | 4. パンの個数は16個に増加し、お金の価値は上昇した。 |
|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|

問7 日本銀行が不景気の際に「買いオペレーション」を行う目的と、その仕組みとして正しい説明はどれですか。（2017年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 市場に流通する通貨量を増やすことで、企業が資金を借りやすくし、景気を上向かせるため | 2. 市場から通貨を回収することで、急激な物価の上昇（インフレーション）を抑制するため | 3. 政府の借金である国債をすべて買い取ることで、国の財政赤字を解消するため | 4. 銀行の保有する資金を減らすことで、過度な設備投資を抑え、景気を安定させるため |
|--|---|--|---|

問8 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。 | 2. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。 | 3. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることで、市場の通貨量を「増加」させる。 | 4. 日本政府が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本銀行が金融機関の保有する国債などを買い取り、世の中の通貨量を増やすこと	不況の際には、日本銀行が市中の金融機関（銀行など）が持っている国債を買い取ります。その代金が金融機関に支払われることで、民間に出回る通貨量が増加します。これにより、企業や個人がお金を借りやすい状況を作り、景気を刺激しようとしています。
問2	答え 1 民間金融機関が保有する資金が不足した際などに、その機関に対して資金の貸し出しを行う。	日本銀行は、一般の銀行が一時的な資金不足に陥った際に「資金の貸し出し」を行ったり、各銀行が余剰資金を預けるための「預金の受け入れ」口座を提供したりします。これにより、民間金融機関同士のお金のやり取り（決済）がスムーズに進むよう調整しています。国の事務を行うのは「政府の銀行」、紙幣を発行するのは「発券銀行」としての役割であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 所得税などの国庫金を取り扱い、国債の発行や管理など国の資金を管理する。	日本銀行の3つの役割のうち「政府の銀行」としての業務を説明したものです。日本銀行は政府の預金口座を管理しており、国民が納めた税金の受け入れや公共事業費の支払い、さらには国の借金である国債の発行実務などを担当しています。これにより、国の財政活動が円滑に行われるよう支える仕組みとなっています。
問4	答え 1 キャッシュレス決済や口座振替などを通じ、現物を使わずに代金の支払いに利用できるため	通貨とは、商品の売買やサービスの対価として、支払いに使える手段を指します。預金は、銀行の口座間で数値を移動させる「振り込み」や、スマートフォンの決済アプリ、クレジットカードなどの決済手段を通じて、現金そのものを介さずに支払いを行うことができます。このように、現金と同等の支払い能力を持っているため、通貨の重要な構成要素と見なされます。
問5	答え 1 価値の尺度	貨幣には主に3つの機能がありますが、商品の価値を「価格」として表示し、ものさしのように測る役割を「価値の尺度」と呼びます。この機能があることで、米とバナナのように全く異なる商品であっても、どちらがどれだけ価値が高いかを共通の数値で比較することが可能になります。選択肢にある「支払手段」は代金を支払う機能、「蓄蔵手段」は価値を蓄えておく機能を指します。
問6	答え 1 パンの個数は4個に減少し、お金の価値は下落した。	物価が2倍になると、1,000円という同じ金額で手に入れられる商品の量は半分（この場合は8個から4個）に減少します。このように、同じ金額を支払っても以前より少ない量の商品しか買えなくなる状態は、お金が持っている「物を買う力（購買力）」が弱まったことを意味するため、お金の価値は下落したと判断します。
問7	答え 1 市場に流通する通貨量を増やすことで、企業が資金を借りやすくし、景気を上向かせるため	買いオペレーションは、日本銀行が代金を支払って国債を買い上げることで、市場（民間金融機関）に資金を供給する仕組みです。市場の通貨量が増えると金利が下がり、企業や個人が銀行からお金を借りやすくなります。その結果、設備投資や消費が刺激され、停滞している景気を上向かせる効果が期待されます。
問8	答え 1 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。	公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）のうち、好景気時に行われるのが「売りオペレーション」です。日本銀行が主体となって国債を「売る」ことで、対価として民間銀行の資金を回収します。その結果、世の中の通貨（マネーストック）の供給が絞り込まれ、物価の安定を図ることができます。選択肢にある「国債を買い、通貨量を増加させる」のは、不景気時に行われる「買いオペレーション」の説明です。

問1 銀行は、企業への貸し出しで受け取る利子を、預金者へ支払う利子よりも高く設定しています。このような利子の設定によって得られる利益（利ざや）の主な目的として、正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 銀行の店舗運営費や人件費をまかなない、企業の利益として確保するため。
2. 日本銀行から借り入れた資金を、利子をつけて全額返済するための原資にするため。
3. 景気が過熱した際に、企業が資金を借りすぎないように、市場の通貨量を調整するため。
4. 預金者が将来受け取るはずの利子を、政府が税金として回収しやすくするため。

問2 景気が後退している状況において、日本銀行が買いオペレーションを実施した場合、市場の利子率（金利）と企業の経済活動にはどのような変化が起きると期待されますか。その因果関係を説明したものとして適切なものを選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす
2. 市場の通貨量が増えることで利子率が上がり、企業は将来のインフレに備えて生産を縮小する
3. 市場の通貨量が減ることで利子率が上がり、企業の借金が減るため経営状態が改善する
4. 市場の通貨量が減ることで利子率が下がり、デフレが解消されて企業の売上が増加する

問3 日本において、紙幣の発行や一般の銀行への資金の貸し出しを行うほか、政府の資金の出し入れを行う「政府の銀行」としての役割を持つ金融機関はどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 日本銀行
2. 市中銀行
3. 世界銀行
4. 日本政策金融公庫

問4 日本の中央銀行である日本銀行は、その役割から「銀行の銀行」や「政府の銀行」と呼ばれています。日本銀行が直接、資金の貸し借りや預金の受け入れといった取引を日常的に行う対象として、最も適切な組み合わせを選びなさい。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 民間の金融機関と政府
2. 一般の企業と家計（個人）
3. 地方の工場と商店街
4. 外国の個人投資家とNPO法人

問5 資金の調達方法の一つである「間接金融」の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）

1. 企業が株式や債券を発行し、投資家から直接資金を借り入れる仕組み
2. 銀行が預金者から集めた資金を、自らの責任で特定の企業に貸し出す仕組み
3. 政府が税金として集めた資金を、公共事業のために地方自治体へ配分する仕組み
4. 日本銀行が市中銀行との間で国債を売買し、市場に流通する通貨量を調整する仕組み

問6 銀行を通じたお金の流れにおいて、銀行が家計などから「預金」を受け取り、それを別の企業への「貸し出し金」に充てる仕組みの説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. 預金者と資金を借りる企業が直接契約を結ばず、銀行が仲立ちとなって資金を融通する仕組み。
2. 企業が株式や社債を発行し、家計から直接資金を調達して事業を行う仕組み。
3. 日本銀行が政府の銀行として、税金を預かり公共事業の資金を貸し出す仕組み。
4. 各個人が所有する余剰資金を、インターネット上のプラットフォームを通じて個人間で直接貸し借りする仕組み。

問7 景気後退期において、日本銀行が公開市場操作の一環として「買いオペレーション」を実施した際、金融市場で直接的に起こると予想される変化はどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）

1. 民間銀行が保有する資金量が増加し、市場の利子率が低下する。
2. 民間銀行が保有する資金量が減少し、市場の利子率が上昇する。
3. 民間銀行の国債保有量が増加し、企業への融資額が減少する。
4. 日本銀行の保有する資金量が増加し、政府の財政支出が拡大する。

問8 家計から銀行などの金融機関へ預金が行われ、その資金を金融機関が企業に貸し出す「間接金融」に対し、家計が証券市場を通じて企業に直接資金を供給する「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 金融機関が仲介役となり、預金者の代わりに貸付先の審査やリスク管理を行う。
2. 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに投資家から資金を直接募る。
3. 日本銀行が通貨供給量を調整することで、市場全体の金利に影響を与える。
4. 政府が公共事業を行うために、国債を発行して家計から広く資金を集める。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 銀行の店舗運営費や人件費をまかない、 企業の利益として確保するため。	銀行は多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて大口の資金として企業などに貸し出す「金融仲介機能」を果たしています。この仲介業務をビジネスとして成立させるためには、店舗の維持費や従業員の給与などのコストがかかります。そのため、貸出金利を預金金利より高く設定することで得られる収益が必要不可欠となります。
問2	答え 1 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、 企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす	日本銀行が買いオペレーションを行い市場の通貨量が増えると、資金の供給が需要を上回るため、お金を借りる際のコストである「利子率」が低下します。利子率が下がれば、企業は低い利息で銀行から資金を借りて新しい工場を建てたり、機械を導入したりする（設備投資）といった経済活動を行いやすくなります。これにより、社会全体の経済活動が活発になり、不景気からの脱却が図られます。
問3	答え 1 日本銀行	日本銀行はわが国の中央銀行であり、「発券銀行」「政府の銀行」「銀行の銀行」という3つの主要な役割を担っている。これに対し、市中銀行は企業や個人と取引を行う一般の銀行を指し、世界銀行は発展途上国の開発支援などを行う国際機関である。
問4	答え 1 民間の金融機関と政府	日本銀行は私たち個人や一般の株式会社が直接口座を開設して預金をすることはできません。日本銀行は、民間の銀行などの金融機関に対して資金を融通する「銀行の銀行」としての役割と、税金などの国庫金を管理する「政府の銀行」としての役割を担っているため、取引相手は金融機関や国に限定されています。
問5	答え 2 銀行が預金者から集めた資金を、自らの責任で特定の企業に貸し出す仕組み	間接金融では、預金者は自分の預金がどの企業に貸し出されるかを直接指定することはできません。金融機関が預金者から預かった資金を一括して管理し、審査を行った上で企業に融資します。一方、企業が株式などを通じて直接投資家から資金を得る方法は直接金融と呼ばれます。
問6	答え 1 預金者と資金を借りる企業が直接契約を結ばず、 銀行が仲立ちとなって資金を融通する仕組み。	銀行が預金として集めた資金を自らの判断で貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれます。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその責任において企業などへ貸し出しを行うため、預金者と借り手の間に直接的な契約関係はありません。これに対し、株式や債券などを通じて資金を調達する仕組みは「直接金融」と呼ばれ、区別されます。
問7	答え 1 民間銀行が保有する資金量が増加し、 市場の利子率が低下する。	公開市場操作（買いオペレーション）は、日本銀行が国債を買い取る対価として、民間銀行の当座預金口座に代金を振り込む形で行われます。これにより民間銀行の資金量（通貨供給量）が増えるため、資金の借り手にとってのコストである「利子率（金利）」が低下するメカニズムになっています。
問8	答え 2 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに 投資家から資金を直接募る。	直接金融は、資金の余っている家計などが、資金を必要としている企業に対して、金融機関を通さずに資金を供給する点に特徴があります。この方式では、投資に伴うリスクは投資家（家計など）が負うこととなりますが、企業にとっては銀行の意向に左右されず、広く市場から資金を集められるメリットがあります。